

G4エリアA5-A6タンク連結弁からの滴下事象 (原因調査)

平成26年9月25日

東京電力株式会社



1. 原因調査

◆ひび割れが確認されたG4エリアA5-A6タンク間連結弁（V-202-G4-A-9）について、原因を調査するために以下を実施した。

- (1) ひび割れが確認された連結弁（V-202-G4-A-9）取り外し、新品の同型弁と交換した。（9月13日）
なお、今後の原因調査の一助とするため、交換前にひび割れが確認された弁の外観観察および取り付け状態の確認を実施した。



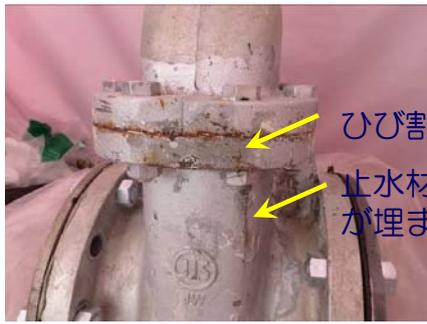
当該弁



新品

内部確認（切断前）

(2) 取り外した当該弁について、弁箱と蓋を開放し弁箱内部（ひび割れ部の内部）を確認。その結果、貫通していると思われる割れを確認した。



弁箱開放前



錆拭き取り後



錆拭き取り前



ガスケット取り外し後

当該部切り出し



2. 今後の計画（案）

（1）原因調査

- ・破面観察を行うため、破面の錆を落とし詳細撮影を実施する。また必要に応じてマイクロスコープ等を用いて詳細観察を行う予定。
- ・観察結果を研究所において検討し、原因もしくは推定原因を特定する。なお、特定出来ない場合においては、他の方法も含めて検討する。

（2）原因の特定・水平展開

- ・原因特定後対策を検討し、必要に応じて他の同型弁の調査を行う。（調査項目・範囲の整理）
- ・原因と対策報告書を取りまとめ水平展開する。